

## 西東京市市民協働推進センター事業（西東京市からの受託事業）

1. 西東京市市民協働推進センター（以下、センターという）は、平成21年の設立から13年。第4期である今期は「個」の支援や教育機関との協働において強みを持つ西東京ボランティア・市民活動センターと情報共有等を通じた連携のもと、「あつまる」「つながる」「ささえる」を理念に事業展開を実施します。企業等との協働を通じて地域共生社会の実現を目指したセンター運営を継続します。
2. センターは中間支援組織として、市民活動団体の自立・継続に向けてきめ細やかな情報提供、アドバイス、コーディネーターなどのサポートを強化、社会情勢に迅速に対応しながら協働を推進していきます。

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>広報・PR事業</p>	<p>地域連携の促進やセンターの広報・PRの充実を図るために、各種情報媒体を積極的に活用しながら、「活動者が得たいと思う情報」を広く周知していきます。ホームページの機能充実にむけた検討を行います。</p> <p>○センターの情報発信及び情報の更新、周知活動</p> <p>○他団体・組織やイベントでの連携</p>	<p>① センターの情報発信及び情報の更新、周知活動</p> <p>○センターのホームページやSNS等を利用した広報・PR活動</p> <p>○ホームページ、SNSの運営、Wi-FiとiPad等を活用しリアルタイムな情報提供</p> <p>○各種媒体により、センターの役割や機能、活動内容を広報・PR</p> <p>○機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行 機関紙の発行(6・9・12・3月号、各号1000部発行)</p> <p>○団体紹介冊子の発行、配架</p> <p>② 他団体・組織イベントでの連携</p> <p>○広報・PRに協力してくれる団体・企業・施設を拡大、確保</p> <p>○市内全ての小中学校へ団体紹介冊子の配架、地域学校協働活動等での活用促進</p> <p>○西東京ボランティア・市民活動センターのイベントへの参加(3/5協働事業)</p>	<p>① センターの情報発信及び情報の更新、周知活動</p> <p>ホームページのデザインの一部と文字の色を変更したことにより、情報を伝わりやすくなりました。</p> <p>Instagramを利用したイベントの発信を開始した。</p> <p>NPO市民フェスティバルの動画配信に伴う特設ページへの移行を分かりやすくした。</p> <p>行政からの依頼で、イベント等の広報を登録団体へ周知したことにより、参加者が増えた。</p> <p>NPO市民フェスティバルで団体紹介冊子を展示会場に設置したところ200冊以上市民に配布することができた。市のホームページにゆめこらぼURLを貼り広報した。</p> <p>② 他団体・組織イベントでの連携</p> <p>フレスポひばりが丘との協働により、NPO市民フェスティバルで活動紹介のパネルを1週間展示することができた。</p> <p>フレスポからの依頼で、調布市の行政並びに活動団体へゆめこらぼが推進している協働のプレゼンを行った。</p> <p>ボランティア・市民活動センターと連携しボランティアのつどいパート1で非公開の円卓会議を、パート2ではボランティアのつどいでゆめこらぼ主催のまちづくり円卓会議を開催した。地域活動を進め、サポートする上でお互いに意思疎通を図った。</p> <p>企業(住友金属鉱産株式会社)より依頼を受け、社員向けの社会貢献フォーラムの講師を務め、ゆめこらぼの事業PRにつながった。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>情報収集・提供事業</p>	<p>現在活動している市民活動団体の情報及び市民活動に関連する情報を迅速に集約・発信し、市民活動に関する市民の理解や認知度の向上、市民参加の促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動団体の情報収集・提供</li> <li>○市民活動の情報収集・提供</li> <li>○市民活動に関する実態調査</li> </ul>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○機関紙「ゆめこらぼ通信」で情報提供(年4回) 団体の活動紹介(8団体)</li> <li>○地域密着型メディア各社との連携</li> <li>○情報ステーション(まちテナ)との連携</li> <li>○ホームページで団体のイベント情報を発信(団体のイベント情報、パンフレット、機関紙)</li> <li>○イベント情報の発信</li> <li>○団体紹介冊子の発行(1月) NPO市民フェスティバルに合わせて団体紹介冊子を1500部発行</li> </ul> <p>② 市民活動の情報収集・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会情勢に迅速に対応した支援情報を収集、ホームページ等での情報提供</li> </ul> <p>○近隣8市との情報連絡会や日本NPOセンター主催のCEO会議等に参加し、情報収集・提供 日本NPOセンター総会(6/10 リアル&amp;オンライン開催) CEO会議(1/30-31リアル&amp;オンライン開催) 近隣8市情報連絡会(7/15、2/3 リアル&amp;オンライン開催)</p> <p>○市民活動に関する実態調査 市内の市民活動団体の活動実態調査</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供</p> <p>ホームページのアクセス数は29,154件。</p> <p>団体紹介冊子を毎年、市内の全小中学校に配布したことにより、学校からの市民活動団体への問い合わせが増えた。 毎月発行しているイベント情報が好評と、このことを配架先より伝わるなど、ゆめこらぼが定期的に情報発信を続けていることで、市民活動団体の活動が広く市民に伝わってきている。</p> <p>② 市民活動の情報収集・提供</p> <p>助成金情報等をホームページに掲載(110件)</p> <p>近隣8市連絡協議会※では、今年度から町田市が加わり7市から8市となった。 日本NPOセンター主催の会議などに出席することで、日本各地での中間支援センターや政府内の動きなどの情報を得ることができた。 ※ 小平市、八王子市、日野市、府中市、三鷹市、調布市、町田市と西東京市の8市の中間支援組織が自発的に集まって情報交換、意見交換を行っている。</p> <p>実態調査を行ったことにより、活動団体が抱えている問題点が明らかになり、ゆめこらぼに何をサポートして欲しいのかなど事業に活かすことができた。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
相談事業	<p>多様な主体(市民、NPO等市民活動団体、企業、行政職員、教育機関等)がよりよい形でパートナーとなり協働を推進するため、また、各団体が自立的でかつ継続的に活動ができるよう、市民活動を支えるセンターとしての役割を担います。</p> <p>西東京ボランティア・市民活動センターと連携し、相談業務の充実を図ります。</p> <p>○相談業務</p>	<p>① 相談業務</p> <p>○市民活動に関する一般的な相談センター職員により相談対応する相談件数58件</p>	<p>① 相談業務</p> <p>日頃から職員がイベントに参加し、ゆめこらぼの存在を周知したことにより、企業からの相談が持ち込まれた。</p> <p>行政から紹介され相談に来る市民や団体が増えている。</p>
人材、団体育成・研修事業 【重点事業】	<p>市民参加を促す意識啓発、市民活動に必要な知識を習得する研修を行い、第四期が終了する時には誰も取り残さない「皆で支え合う地域共生社会」実現のために事業を展開します。</p> <p>事業を通じて人材、団体育成の更なる推進を図ります。</p> <p>○NPOパワーアップ講座の開催(年1回)</p> <p>○サロンDEこらぼの開催(通年)</p>	<p>① NPOパワーアップ講座の開催</p> <p>○NPO等市民活動団体の育成・組織基盤強化等の講座を開催</p> <p>「SNS投稿活用講座～今日からあなたも発信者～」を開催(10/15) 参加者11人</p> <p>② サロンDEこらぼ</p> <p>○ゆめこらぼのサロンスペースを利用した「市民活動の紹介等」市民活動への理解と普及啓発を図る</p>	<p>① NPOパワーアップ講座の開催</p> <p>SNSを利用し情報発信をするにあたり、コロナ禍やその後においてもそれぞれの団体にとって新たな展開や変化、可能性につながるために必要なスキルとして、目を引く写真の撮り方や心に残る文章の書き方等を学ぶ場とした。</p> <p>講師をゆめこらぼの元登録団体のメンバーに依頼した。市民活動団体での経験が、講師としての活動に活かされた。市民活動が市民生活の質の向上につながった。</p> <p>② サロンDEこらぼ</p> <p>図書館との協働で、レファレンスサービスが定着し毎月テーマに沿った展示を行い、FacebookとInstagramで発信している。この情報を楽しみにしている団体からの声が寄せられた。</p> <p>サロンスペースを利用し動画の撮影を行ったことで、このスペースがスタジオになる事を広められた。</p> <p>円卓会議の板書を掲示し、その様子をSNSで発信したところ、グラフィックコーディングを事業に取り入れたいという問合せがきた。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
地域連携促進事業	<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、教育機関、行政等が相互に交流、連携、協働するため、コーディネート機能を有効に発揮し、地域連携の更なる促進を進めます。</p> <p>○団体交流会 ○NPO市民フェスティバル ○多者協働のまちづくり</p>	<p>① 団体交流会</p> <p>○団体の交流会を開催 {3/5(17団体・18人)}</p> <p>② NPO市民フェスティバル</p> <p>○実行委員会を開催(全8回) (7/5、8/2、9/6、10/4、11/1、12/6、1/10、2/6)</p> <p>○参加団体説明会を開催 {10/8(参加20団体)} 動画総再生回数:571回</p> <p>③ 多者協働のまちづくり</p> <p>○円卓会議を開催することにより、多者協働で課題解決を進める まちづくり円卓会議を開催(3/5)参加38人</p>	<p>① 団体交流会</p> <p>3年ぶりにリアル開催されたこともあり、分野を超えて話が聴ける等有効な時間となったため、継続して欲しいとの声が上がりが交流の場としての役割を果たすことができた。</p> <p>② NPO市民フェスティバル</p> <p>実行委員会は昨年同様オンライン開催となった。開催は令和5年1月21日、22日の2日をメインにテーマ「レッツゴー 好奇心!! 見つけてっ!! あなたにあった市民活動」に沿って団体の活動を発信した。2日間の特別配信、会場でのリアル展示は27日まで、3分の活動紹介動画は3月31日まで配信することでより市民へのPRにつながった。展示をリアル開催したことにより、団体同士が顔を合わせる機会となり大変好評であった。</p> <p>③ 多者協働のまちづくり</p> <p>「今、ボランティアのこれからを考える」をテーマに円卓会議を開催した。会議メンバーからボランティアに対する考え方や関わり方等の意見交換があり、これから自分が何ができるのか行動宣言までのゴールに至った。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
地域連携促進事業	<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、教育機関、行政等が相互に交流、連携、協働するため、コーディネート機能を有効に発揮し、地域連携のさらなる促進を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コミュニティ施策への協力</li> <li>○教育現場とNPO等市民活動等との連携</li> </ul>	<p>④ 地域協力ネットワークの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○南部地域協力ネットワークの総会、定例会に参加</li> <li>○西部地域協力ネットワーク</li> <li>○中部地域協力ネットワーク</li> <li>○北東部地域協力ネットワークのモデル会議に参加(12/21)</li> <li>○合同講演会・交流会 (3/5)</li> <li>○地域情報発信ラジオ番組(第8回放送5/21、第9回放送7/16、第10回放送9/17、第11回放送11/19、第12回放送1/21、第13回放送3/18)</li> </ul> <p>⑤ 社会教育委員会及び研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会教育委員会(全13回)(4/22、4/23、5/27、6/24、7/22、8/26、9/30、10/21、11/25、12/23、1/28、2/24、3/24)</li> <li>○地域学校協働活動等での活用促進</li> </ul>	<p>④ 地域協力ネットワークの連携強化</p> <p>各地域協力ネットワーク内の連携支援と、各地域協力ネットワーク間での連携やつながりをすすめる。</p> <p>モデル会議を経て設立。</p> <p>4圏域設立に伴い合同講演会・交流会を開催。</p> <p>2年目を迎えたコミュニティラジオ番組「こみゅラジ〜今日どう(協働)?」の今年度のテーマを防災としたことにより、参画する市民と活動団体が増えた。総務省の依頼により第21回関東放送シンポジウム「ラジオによる地域社会への貢献」へ出演した。</p> <p>⑤ 社会教育委員会及び研修への参加</p> <p>地域学校協働活動を進めるために、市民活動の事例やゆめこらぼの内容を講話する機会が増加し、研修の参考にされている。</p>
施設の提供及びその他事業	<p>市民活動を支えるために、利用しやすいサロンスペースや機材の提供を行います。また、サロンスペースにて、団体のオンライン活用に向けた機会提供を検討、試行します。感染症対策を含む社会状況を鑑み、安心して利用できる環境、機会を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○センター来訪者</li> <li>○サロンスペースの提供</li> <li>○機材の貸出・提供</li> <li>○登録団体に対し、メールボックスの提供</li> <li>○その他の事業</li> </ul>	<p>① 施設・機材の貸出・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○登録団体：198団体</li> <li>○サロンスペースの提供(来訪団体数：1,181団体、来訪者数：2,282人、サロンスペース：921人)</li> <li>○機材の貸出・提供 397件(コピー機：12件、印刷機：180件、紙折り機・裁断機：79件、ラミネーター：60件、AV機材：66件)</li> <li>○登録団体に対し、メールボックスの提供(108団体)</li> </ul>	<p>① 施設・機材の貸出・提供</p> <p>サロンスペースではiPadを利用し会議への参加等利用の幅が増加している。フリーWi-Fiの提供を開始した。ラミネーターを新しいものと交換した。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
運営及び維持管理	<p>市民の声を反映するため運営委員会を設置する。 事業充実にむけ、研修によるスタッフの資質向上を図る。 運営における維持管理を行う。 第三者評価の実施</p> <p>○運営委員会の開催 ○研修会への参加 ○運営における維持管理 ○第三者評価</p>	<p>① 運営委員会の開催 {4/19(7人)、5/17(9人)、7/19(8人)、10/18(7人)、12/20(7人)、2/21(7人)、3/22(8人)}</p> <p>② 研修会への参加 (4/12、4/23、5/23、5/25、5/28、5/29、6/11、6/25、7/2、7/8、8/24、9/3、9/10、9/27、10/1、12/6)</p> <p>③ 運営における維持管理(常時) ○設備・機材の維持管理</p> <p>④ 第三者評価委員会開催 ○第四期の第三者評価の進め方(11/10、11/24)</p>	<p>① 運営委員会の開催 運営委員の人数が11人から9人に変更されたが、活発で有用な議論が展開された。</p> <p>② 研修会への参加 オンライン参加での研修が主流だが、リアル開催の研修に参加することで、理解を深めることができた。</p> <p>③ 運営における維持管理(常時) 団体の活動支援へつながるようWi-Fi、iPadなど貸し出せる機材が増えた。サービス向上を目指し、利用しやすいセンター運営を推進する。</p> <p>④ 第三者評価委員会開催 事業は全てA評価だが、昨年に続き常時センターに職員を2人確保することが難しくB評価となった。原因の根本的解決はなされていない。</p>